

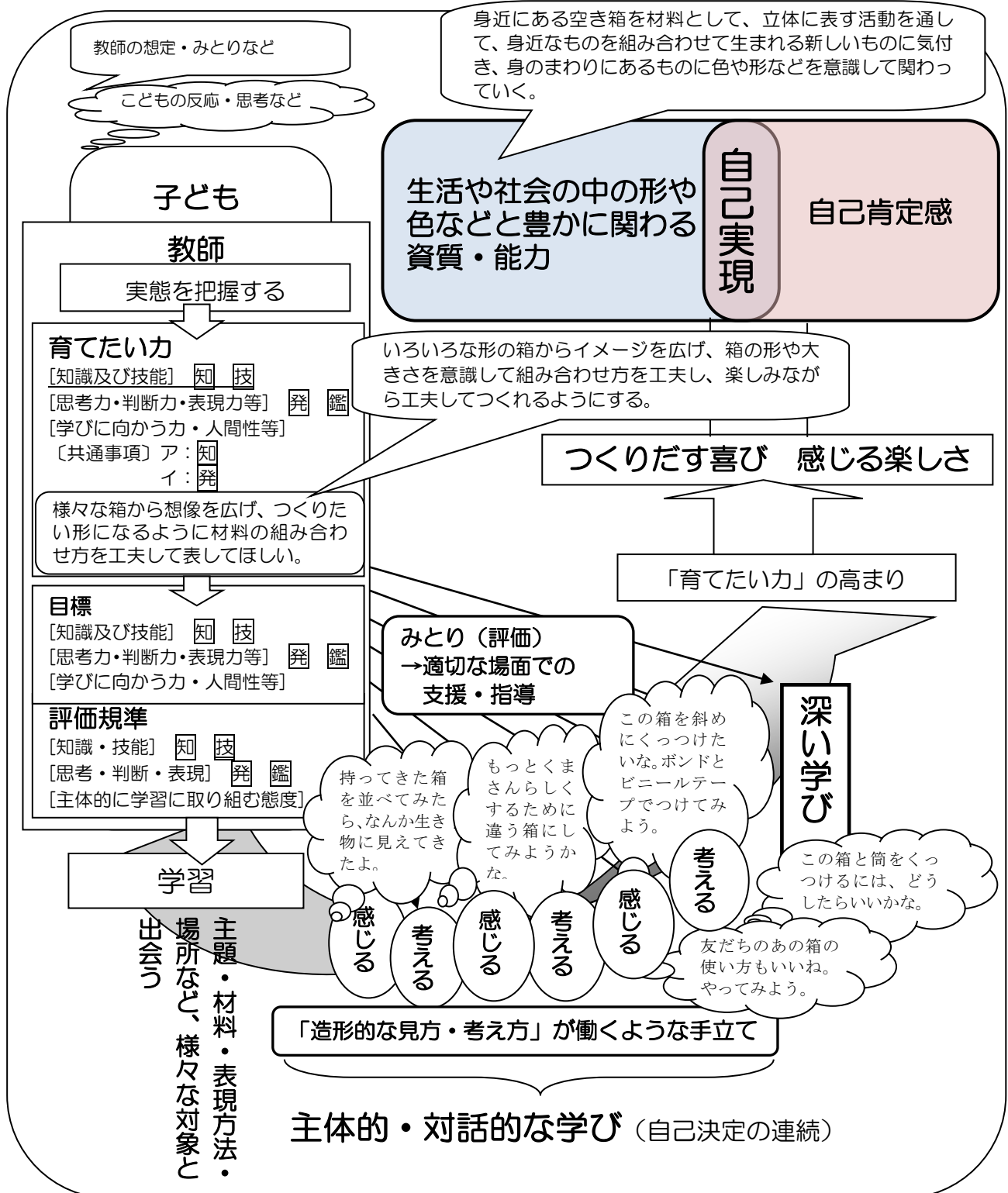
# 第1学年1組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立殿町小学校

中島 愛子

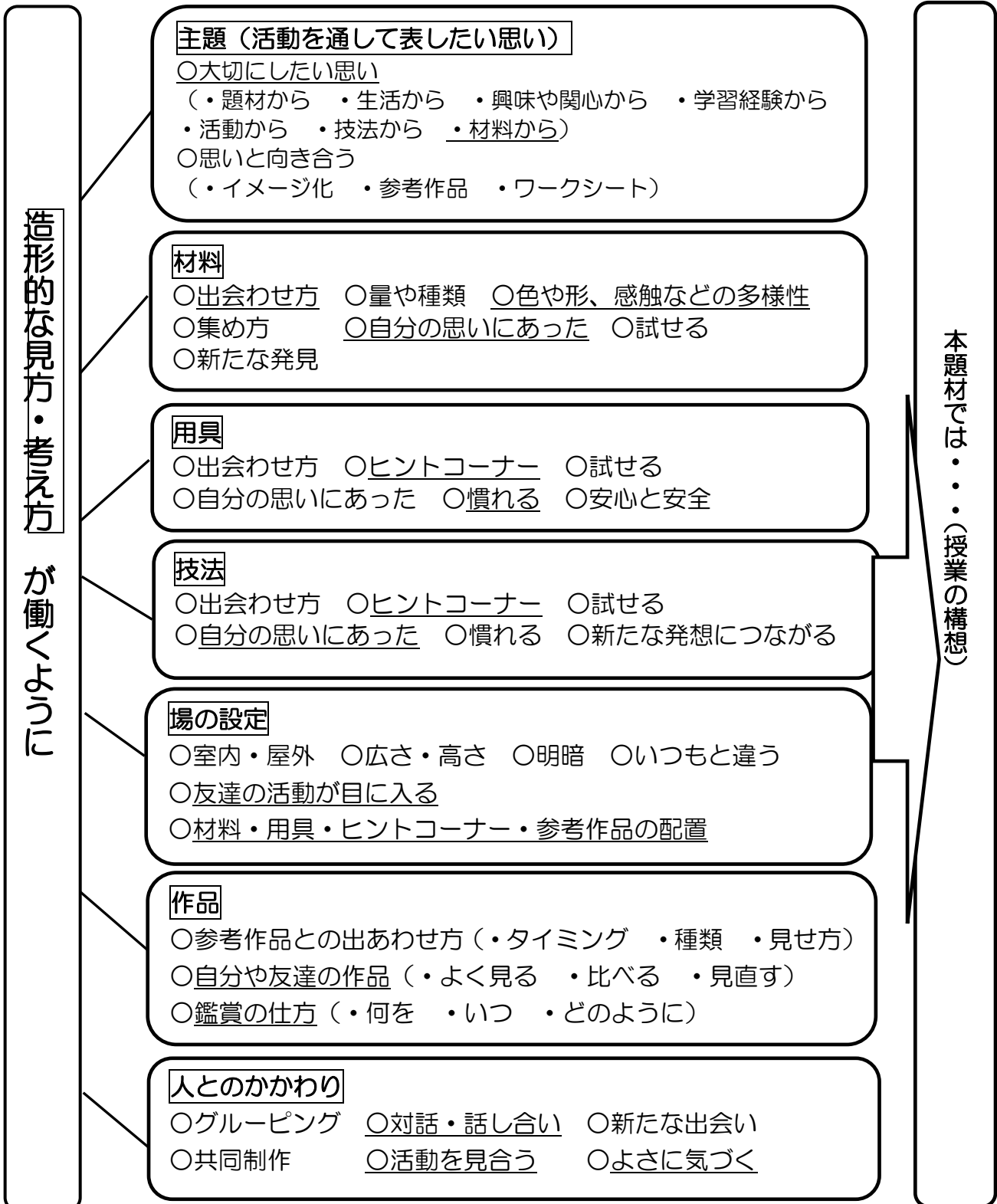
1. 題材名 「はこが へーんしん！」 A表現 イ立体に表す 4時間扱い

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



### 3. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・



## 4. 活動場所 図工室

### 5. 題材観

#### (Ⅰ) 子どもたちの実態

友だちとの関わりを楽しみながら、様々な活動に前向きに取り組む児童が多く、自然と会話をしながら活動をしている。図工が好きで、図工の時間を楽しみにしている様子が見られ、「もっとやりたい。」という声が多く聞かれる。

「チョコチョコキ かざり」では、はさみの使い方を知り、紙を折ったり、重ねたりして紙の切り方を工夫して飾りをつくった。紙を広げて出来上がった模様を見て歓声を上げたり、「見て見て。」と教師に見せに来たりしていた。その後は、休み時間にもいろいろな作品づくりに取り組んでいた。「ひもひもねんど」では、粘土をひも状にすることから思い付いたことを表した。教室での個人での活動から、図工室での小グループの活動へと発展させることで、自然と友だちと作品をつなげたり、図工室の机の穴を生かして活動したりする姿が見られた。鑑賞の時間では、「〇班さんのは、遊園地みたいになっていてすごかったです。」「〇〇さんの作品はいろいろな太さのひもでつくってあるのがいいなと思いました。」など、友だちの作品のよさを伝え合っていた。

つくりたいもののイメージをもって活動に取り組む児童がいる一方で、「こんな作品でいいのかな。」「どうやってつくればいいのかな。」と自分の作品づくりに自信がもてずに手が止まってしまったり、題材のめあてに沿った活動が出来ずにいたりする児童もいる。また、はさみや糊の使い方に慣れていない児童も見られる。

そこで、この題材を通して、箱という身近な材料から表したいものを考え、自由な発想で作り出すことの喜びを感じられるにしたい。そのためには、つくりたいものを立体に表せた喜びや達成感を味わえるように、活動を工夫していく必要があると考えている。

#### (Ⅱ) 題材と育てたい力

##### 育てたい力：知識及び技能

本題材では、子どもたちの身近にある空き箱を組み合わせて、元の形から変身させていくことで立体にする活動を行う。箱の積み方、並べ方、接着の仕方を工夫して作品に表していく。

そこで、本題材の前に、造形あそび「いろいろな はこから」を行い、様々な形や色、大きさの箱に親しみ、積んだり並べたりする活動を十分に行った。その中で、大きな箱、細長い箱、薄い箱、筒の形、青っぽい箱など、造形的な視点で箱と関われるようにした。

そして本題材では、その経験を生かして、立体に表していく。箱を並べたり積んだりすることを楽しむ活動から発展して、表したいもののイメージをもち、組み合わせ方や接着の仕方を工夫して立体に表す。

使わなくなった空き箱に自分たちの発想で手を加えることで、箱を変身させて新たなものをつくり出したという喜びを感じてほしい。箱の組み合わせ方を試す時間を設定したり、様々な接着の仕方を提示したり、友だちと作品を見合っただけでそのよさを伝え合ったりする活動を通して、思いを形に表せた喜びを感じたり、創造的な技能を発揮できる資質や能力を育成することができるのではないかと考える。そして本題材を通して感じた喜びや自信を今後の活動につなげていけるようにしたい。

#### (Ⅲ) 造形的な見方・考え方が働くような手立て

～「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につなげるために～

##### ① 前題材とのつながり

本題材の前に、造形遊び「いろいろな はこから」の中で、箱を積んだり並べたりする活動を十分に行って、箱に親しむことができるようにした。その中で箱の形や大きさ、色などに着目して活動できるように声かけを行い、本題材につなげていけるようにした。

##### ② 材料・用具について

子どもたちが集めてきた材料だけでは足りないことも考えられるので、教師の方でも箱や身边材を材料コーナーに用意しておき、子どもたちが必要に応じて選べるようにする。また、第1時で自分が持って来た箱を並べたり積んだりして、表したい形を考える活動を行った後、第2時まで時間をとり、さらに必要な材料を集めるように声をかける。

- ③ 子どもたちの思いを実現するための接着の仕方の提示  
子どもたちはまだまだ接着の経験が少なく、簡単につけられるセロテープを使用しがちである。そこで、ボンドや両面テープなどを使った接着の仕方を提示し、箱の形や大きさ、組み合わせ方によって、自分の思いに合った接着の仕方を選んで活動できるようにする。
- ④ 小グループでの活動  
小グループで活動を行うことによって、いつでも友だちの作品づくりの様子を見たり、対話をしたりしながら活動ができるようにする。そのことを通して、友だちの作品のよさを見つけたり、自分の作品づくりに生かしたりすることにつながると考える。
- ⑤ 完成した作品の鑑賞の仕方  
楽しみながら主体的に作品を鑑賞できるように、「変身ランド」と題して、作品で遊ぶ活動を取り入れる。動物の作品同士で遊んだり、遊びながら会話をしたりすることで、自分の作品に愛着をもったり、友だちの作品に親しんだりして、そのよさに気づくことができると思う。

(Ⅳ) 学年の目標

<第1学年及び第2学年>

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	(2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	(3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

(Ⅴ) 学年の内容及び共通事項

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
A 表現	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。(技能)	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること。(発想・構想)	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
B 鑑賞		(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。 (鑑賞)	
共通事項	〔共通事項〕ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。(知識)	〔共通事項〕イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	

(Ⅵ) 題材の目標

(1) 知識及び技能に関する題材の目標

○自分の感覚や行為を通して、箱の形や色などに気付く。(知識)

○様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。(技能)

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

○様々な形や大きさの箱を積んだり並べたりする活動を通して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、組み合わせ方を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。(発想や構想に関する資質・能力)

○自分たちの作品や箱を組み合わせることができる形の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(鑑賞に関する資質・能力)

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

○楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 自分の感覚や行為を通して、箱の形や色などに気付いている。</p> <p><b>技</b> 様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>	<p><b>発</b> 様々な形や大きさの箱を積んだり並べたりする活動を通して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、組み合わせ方を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p><b>鑑</b> 自分たちの作品や箱を組み合わせてできる形の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p><b>主</b> つくりだす喜びを味わい、楽しみながら、箱を用いて表したり、作品を鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。</p>

7. 準備

- [ 教師 ] 空き箱、両面テープ、ビニールテープ、洗濯ばさみ、マスキングテープ、色画用紙、  
    身辺材（毛糸、ストローなど）、油性ペンなど
- [ 子ども ] 空き箱、はさみ、のり、ボンド、セロテープ、クレパス

8. 指導と評価計画（4時間扱い）

	◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て	評価規準□と 評価方法（ ）
1 次 4 5 分	箱を並べたり積んだりしながら、つくりたいものを考えよう。		
	◇前題材の造形あそび「いろいろな はこから」の学習をふり返る。 ・高く積むために、大きい箱から順番に積んでいったら、背よりも高く積めたよ。 ・箱の道をつくったよね。  ◇教師が箱を組み合わせて変身させる様子を見て、本題材の大まかな活動内容を知る。 ・何に変身するのか。 ・あれは、脚かな。 ・あ、キリンに変身しちゃった。 ・同じ箱で、戦車もできるなんてすごい！  ◇様々な箱を使って組み合わせ方を試し、何に変身させられるかを考える。 ・うすい箱は、鳥の羽みたいだよ。 ・この筒を使えばタイヤができるよ。 ・耳をつくるのにいい箱はないかな。	◎造形あそび「いろいろな はこから」の活動の様子を写真や子どもの感想などを提示して、箱の形や大きさ、色などを楽しんだことをふり返る。  ○「箱が何に変身して見えるかな。」と投げかけ、積む、並べる、つなげるなどの活動を通して、箱を組み合わせて何かに変身させることに興味をもてるようにする。  ○いろいろな積み方や並べ方をしてつくりたいもののイメージをふくらませられるようにする。 ◎友だちの活動の様子を見合ったり、紹介したりする時間を設定し、次時の作品づくりに生かせるようにする。 ○次時に向け、必要な児童はさらに空き箱を集めてくるように声をかけ、材料集めのために少し時間をとる。	主 つくりだす喜びを味わい、楽しみながら、箱を用いて表したり、作品を鑑賞したりする活動に取り組んでいる。 （発言・つぶやき・活動の様子）  発 様々な形や大きさの箱を積んだり並べたりする活動を通して感じたこと、想像したことから見付け、好きな形や色を選んだり、組み合わせ方を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 （発言・つぶやき・活動の様子・作品）
2 次 9 0 分	箱を組み合わせて くっつけて 変身させよう。		
	◇接着の仕方を知る。	◎箱の形や大きさ組み合わせ方によって、自分の思いに合った接着の仕方を選んで活動できるように、写真やイラストなどの掲示資料や見本を提示する。 〈箱と箱をつけるときは〉 ・接着剤でつける。 ・粘着テープを輪にしてつける。	因 自分の感覚や行為を通して、箱の形や色などに気付いている。 （発言・つぶやき・活動の様子・作品）

<p>本時</p>	<p>◇表したい形に合わせて、箱のつなぎ方や組み合わせ方、接着の仕方を工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カッコいい車をつくりたいな。</li> <li>• この箱は、ロボットの手にぴったりだな。</li> <li>• 鳥の羽をパタパタするようにつけるにはどうすればいいかな。</li> <li>• トイレットペーパーの芯は、ボンドでうまくつかないなあ。切り込みを入れてつけてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 両面テープでつける。</li> <li>• ビニールテープでつける。</li> </ul> <p>〈のりしろがないものをつけるときは〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 切り込みを入れて折りひろげ、のりしろをつかって、接着剤でつける。</li> <li>• ビニールテープでつける。</li> </ul> <p>◎困っている児童には、必要に応じて子どもたちの思いを聞き、材料コーナーから思いに合う形や色、大きさの材料を一緒に探したり、接着の仕方を考えたりする。</p> <p>◎小グループで活動することで、グループの友だちの作品づくりの様子を見たり、対話をしたりして、友だちの作品のよさを見つけたり、自分の作品づくりに生かしたりすることができるようにする。</p>	<p>技</p> <p>様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p> <p>(発言・つぶやき・活動の様子・作品)</p>
<p>3 次 4 5 分</p>	<p>変身ランドで遊んで、作品を楽しもう</p>		<p>鑑</p> <p>自分たちの作品や箱を組み合わせることができる形の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>(発言・つぶやき)</p> <p>主</p> <p>つくりだす喜びを味わい、楽しみながら、箱を用いて表したり、作品を鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。</p> <p>(発言・つぶやき・活動の様子)</p>
<p>◇グループで自分の作品について紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ぼくは、細長い箱をたくさんつないで不思議な生き物「にょろにょろ」をつくりました。箱を少し切って貼り付けたらへびみたいに曲がらせることができました。</li> </ul> <p>◇「変身ランド」で、変身させた作品を見合い、作品を使って遊んだり、お話づくりをしたりして楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• わぁ、箱が電車に変身しているよ。カッコいいね。</li> <li>• わたし、くまのくーたんだよ。一緒に遊ぼうよ。</li> </ul> <p>◇自分の作品づくりの感想や友だちの作品のすてきなところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ○○さんの作品は、耳が動くようについていてすごいと思いました。</li> </ul>	<p>○作品を紹介する際には、箱を何に変身させたのかを話したり、形や色について工夫したりしたところを話せるようにする。</p> <p>◎遊びの中で形や色などについて、話している子どもを認め、クラス全体でいろいろな視点をもてるようにする。</p>		



## 9. 本時の活動（2/4時間 45分）

### （1）本時の目標

様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。（技能）

### （2）本時の展開

<p>◇子どもの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される子どもの反応</li> </ul>	<p>○教師のかかわり・手立て</p> <p>◎造形的な見方・考え方が働くような手立て</p>	<p>評価規準□と 評価方法（ ）</p>
<p>箱を組み合わせて くっつけて 変身させよう。</p>		
<p>◇本時のめあてを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間に試してできた恐竜をつくろう。</li> <li>・もう一回箱を組み合わせて考えてみようかな。</li> <li>・うまくくっつけられるかな。</li> </ul>	<p>○前時の活動をふり返り、箱を積んだり、並べたりすることで、箱を変身させたことを思い出せるようにし、めあてにつなげる。</p> <p>○どのように変身させたいかを共有し、活動への意欲づけになるようにする。</p>	
<p>◇箱の接着の仕方を知る。</p>	<p>◎箱の形や大きさ、組み合わせ方によって、自分の思いに合った接着の仕方を選んで活動できるように、写真やイラストなどの掲示資料や見本を提示する。</p> <p>〈箱と箱をつけるときは〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接着剤でつける。</li> <li>・粘着テープを輪にしてつける。</li> <li>・両面テープでつける。</li> <li>・ビニールテープでつける。</li> </ul> <p>〈のりしろがないものをつけるときは〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り込みを入れて折りひろげ、のりしろをつくって、接着剤でつける。</li> <li>・ビニールテープでつける。</li> </ul>	
<p>◇表したい形に合わせて、箱のつなぎ方や組み合わせ方、接着の仕方を工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かっこいい車をつくりたいな。</li> </ul>	<p>◎困っている児童には、必要に応じて子どもたちの思いを聞き、材料コーナーから思いに合う形や色、大きさの材料を一緒に探したり、接着の仕方を考えたりする。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>•この箱は、ロボットの手にぴったりだな。</li> <li>•鳥の羽をパタパタするようにつけるにはどうすればいいかな。</li> <li>•トイレットペーパーの芯は、ボンドでうまくつかないなあ。切り込みを入れてつけてみよう。</li> </ul> <p>◇片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎小グループで活動することで、グループの友だちの作品づくりの様子を見たり、対話をしたりして、友だちの作品のよさを見つけたり、自分の作品づくりに生かしたりすることができるようにする。</li> <li>◎他のグループの活動の様子を見られるように、材料や用具の置き場の配置を工夫する。</li> <li>○必要に応じて、つくりたいものらしく表せるように、箱でつukれない細かな部分は、色画用紙などでつくってもよいことを知らせる。</li> <li>◎形や色のなどの箱の特徴生かしたり、接着の仕方に工夫が見られたりする作品を紹介し、表し方の工夫や接着の仕方の参考になるようにする。</li> <li>○片付けの仕方について伝える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•使える箱とそうでない箱に分け、種類ごとに分けることで、形や大きさ、色の感じを見ながら次への意欲をもてるようにする。</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>知</b></p> <p>自分の感覚や行為を通して、箱の形や色などに気付いている。</p> <p>(発言・つぶやき・活動の様子・作品)</p> <p><b>技</b></p> <p>様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p> <p>(発言・つぶやき・活動の様子・作品)</p>
--	--	--